

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P4 企業との対話、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

私は「共創」という言葉を結構、気に入っています。「共創」とは共に創る、つまり、コ・クリエーションです。「共感」によって寄り集まり、「共助」によってお互いを補うから、「共創」が可能になります。

この「コクリ」と、一般的にいわれる「コラボ」ちょっと意味が異なるようです。コラボレーションとは達成したい目的に、何をすればよいか、どの方法がよいかを既に知っている協力のことを示します。

一方、「コクリ」の場合は、大きな方向性や可能性が見えているけれども、何をどのように進めればよいかはまだ具体化できていない状態において、共に試行錯誤しながら目的を達成することです。つまり、全く新しいことを共に創造するワクワク感がコクリの原動力となります。

コモンズの名の由来は、「Common Ground」。ですから、コモンズ投信は「今日よりも、よい明日」という希望を共創する場であり、私たちは、それを「投資信託」という手段で提供したいと考えています。まさに、投資先企業やお客様と“対話”を通じてファンドを創りあげる(共創)ということに他なりません。

一方、その「よい明日」が実現する正しい答えがたったひとつである訳ではありません。世の中は常に変化が付き添います。だからこそ、様々な立場から同じ存在を見る意識が大切なのです。絶対的な解ではなく、様々な角度の視点から生じる問いによって共創の可能性が高まります。例えば、世界でESG投資(※)への意識が広まっています。コモンズ30ファンドはESGファンドではありませんが、投資対象とする企業の持続的な価値創造にESGという要素は不可欠であり、コモンズ30ファンドにとってESGは企業の持続的な価値創造を促進する対話を深化させる重要なツールという位置付けです。

渋澤と伊井の「今月の想い」

コモンズのESGの精鋭化を図る狙いで「ESG最高責任者」という新たな役職を4月1日付けで設置し、私が着任しました。ESG最高責任者の具体的な役割のひとつに投資先企業に対する議決権行使の最終判断があります。議決権行使についてはガイドラインの設置でコモンズ投信の運用方針が明確化されています。

(<http://www.common30.jp/policy/proxyvoting.php>) その一方、これまでは投資委員会内で判断が分かれる場合などは、棄権せざるを得ませんでした。このように議決権行使が機械的になる弊害を防ぐため、投資委員会メンバーとの議論を踏まえながら最終判断はESG最高責任者に一任され、私が企業との対話を鑑み、最終判断します。

ガバナンスの形式に留まらず、本質を追求することによって、投資先企業の持続的な価値創造の向上を受益者の長期的な資産形成へつなげるという“共創”にコモンズ投信は今後とも務めます!

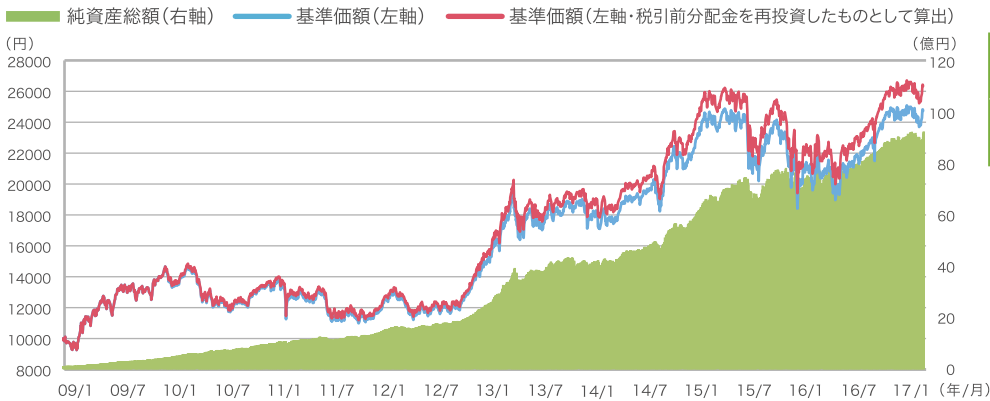
(※)ESG投資…環境や社会、ガバナンスに対する企業の取組み姿勢をもとに投資を判断する運用手法。



コモンズ投信株式会社
取締役会長
渋澤 健

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

(2017年4月28日付)

基準価額	24,718円
純資産総額	9,200百万円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。
 ※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により減減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。
 ※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2017年4月28日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
1.51%	0.93%	8.95%	19.26%	43.60%	105.16%	163.17%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

分配実績

第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月20日)	第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)	第8期 (2017年1月18日)	設定来累計
200円	200円	220円	0円	240円	1,110円

運用状況

◎運用レビュー

4月のファンドの月間リターンは1.51%の上昇となりました。

◎4月の個別銘柄リターン

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「堀場製作所(+10.05%)」、「セブン&アイHD(+7.98%)」、「東京エレクトロン(+6.66%)」となりました。堀場製作所は、半導体製造装置の需要環境が活況なことや、エンジン排ガス測定を中心とする自動車事業の収益力回復が注目されています。セブン&アイHDは、米国でのM&Aや国内の人手不足対策を発表、国内外での収益基盤強化戦略を打ち出したことで成長期待が強まりました。東京エレクトロンは、半導体製造装置市場の好調が、今年前半だけでなく、ユーザーの旺盛な設備投資の動きにより、後半も持続する可能性が出てきたことがプラス材料となっています。一方、下位3銘柄は、「SMC(▲4.65%)」、「ホンダ(▲3.55%)」、「ベネッセHD(▲3.30%)」となりました。SMCは、自動車向けと半導体向けがビジネスの両輪ですが、円高進行で自動車株が売られるなか、同社の株価も過度に反応しました。ホンダは、北東アジア情勢の緊迫化といった地政学的リスクやトランプ米大統領の打ち出す大型減税政策などに対する不透明感から円高が進行したことや、利上げや銀行によるローン審査の厳格化による新車販売台数の低迷などにより、同社を含め自動車株がネガティブ視されました。ベネッセHDは、2014年7月に発覚した個人情報漏えい事件の影響が払しょくできない中で、業績不透明感もあり、5月11日に予定される2017年3月期決算発表を前に、業績への警戒感が高まっているとみられます。

○運用責任者メッセージ

4月の内外金融市場は、地政学的なリスクの高まり、フランス大統領選挙に対する警戒感に加えて、好調とみられていた米国経済指標の一部に弱含むものがみられたことなどから、上値の重たい展開でスタートしました。月末にかけては、トランプ米大統領が重視していた就任100日に向けて税制改革などへの強気の発言、また、日米で決算発表もはじまったことで、やや持ち直す展開となりました。

さて、国内では3月決算企業の決算発表が始まり、個別の企業業績への関心が高まっています。半導体関連銘柄などは好調で、当ファンドの投資先企業の中でも、ディスコ、堀場製作所、東京エレクトロン(銘柄コード順)が年初来高値を更新しています。外部環境が不安定でも、筋肉質な体質に変わっている企業は、しっかりと結果を出しています。どうぞ、引き続き、ご期待ください。

◎投資委員会メンバー

最高運用責任者 伊井 哲朗

○伊井哲朗、渋澤健、糸島孝俊、鎌田聡、上野武昭、末山仁 / ○は最高運用責任者

●組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。

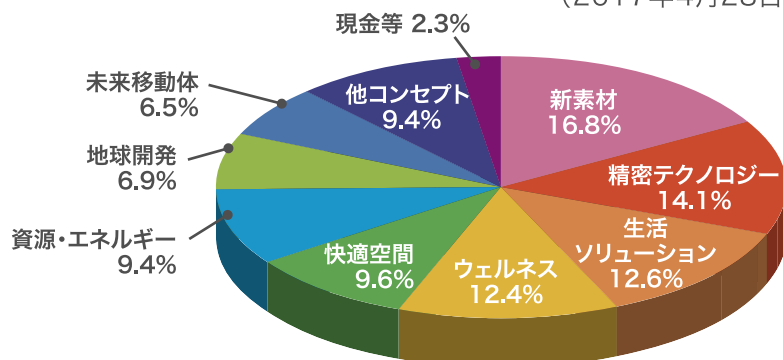
ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	97.7%	▲1.1%
現金等	2.3%	1.1%
構成銘柄	30社	±0社

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比

(2017年4月28日付)



組入上位10銘柄

(2017年4月28日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる
6902	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける
3382	セブン&アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピックアップ!

4月は堀場製作所の株価が10.05%上昇しました。半導体製造装置の需要環境が活況なことや、エンジン排ガス測定を中心とする自動車事業の収益力回復が注目されています。

収益源の半導体製造装置事業については、微細化の進展、3D-NANDフラッシュメモリーの量産本格化に伴い、主力品であるマスコントローラー(半導体製造工程に組み入れられ、流量計測及び制御を行う機器)の伸長が続いているようです。

同社は、2月中旬に開催した2016年12月期決算説明会で、営業利益とWACC(加重資本コスト:企業が達成すべき投資利回りの基準になる数値)を用いた指標を使い、資産効率を測る独自の経営指標の導入を明らかにしました。ROE(株主資本利益率)ベースで、過去2年、10%台を維持していますが、中期的に一段の資産効率向上が期待されます。なお、2017年12月期第1四半期決算発表は、5月12日の予定です。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

こどもトラスト

今回は、コモンズ投信が「こども口座」に注力する理由について改めてお伝えしたいと思います。一人ひとりの日本人の「今日よりも、よい明日」という幸せな未来を築くために、“世代を超えられる投資があるはず”、コモンズ投信はこのような想いを実現させるために設立されました。親から子、子から孫へと世代を超えられる投資の実現のため、私たちは『世代間の資産移転』を促す超長期で保有できる商品を提供し、また『次世代の育成』のための重要な取り組みとしてこども向けセミナーを実施しています。

金融知識は、学ぶことも大切ですが、慣れることはもっと大切だと考えています。勿論、マネーゲームの教育ではありません。金融知識はむしろ「生きていくために大切なツール」であり、キャリアデザインやライフデザインを考えるときにその有効性が発揮されます。

例えばコモンズ投信のファンドを通じて、会社に興味を持ったり、社会とのつながりを感じたり、そこで働いている人たちの懸命な姿を想像して企業の成長を信じたりする力。これは実際に投資をしたりファンドを保有したりすると実体験として得られる大きな学びだと考えています。

また、自分が社会に出るとき、就職するならどのような会社を選ぶのか、そしてどのような働き方をしたいのかという「比べて選ぶ力」。これも投資を通じてを身につけることができると考えています。

現在、コモンズ投信の直接販売口座の6人にひとり(16%以上)が未成年のお客さまです。これは多くの皆さんがコモンズのこうした考えに共感して、その取り組みを評価し、参加いただいている証と認識しています。

3月11日に開催されたコモンズ投信の8周年イベント「The 8th Commons Dialog～共に創る"対話"の時間～」では、全てのお客さまが主役となってご参加いただきたいとの想いから、こどもトラストセミナーをメイン会場の横で同時開催しました。大人はメイン会場に、こどもはこどもトラストセミナーに、という参加ができるようにしました。

「こどもたちの未来に、私たちが今、できること。」

私たちコモンズ投信と一緒に未来をつくる投資に参加していただければと思います。

次回のこどもトラストセミナーは、親子で学ぶおかねの教室「かきくけコモンズ」～おかねの使い方(ピギーちゃんの4分法)～5月14日(日) 10:00～11:30@ウィズダムアカデミー恵比寿校にて開催します。

お子さんを誘って是非ご参加ください。

<http://www.common30.jp/seminars/detail/515>

マーケティング部 横山 玲子

毎年恒例! コモンズ社会起業家フォーラムOBOG会、今年も開催しました!

コモンズ投信が毎回秋に開催している社会起業家フォーラムの第1回【2009年】トップバッター登壇者・佐藤大吾さん(一般社団法人ジャパンギビング代表理事)から昨年の第8回フォーラムのアンカー山口諒真さん(文部科学省トビタテ!留学JAPAN/NPO法人ETIC.MAKERS UNIVERSITY)まで、社会課題に一早く気づき、その解決に挑むリーダーたち

<http://www.common30.jp/fund30/entree.php>が今月初旬、集まりました。

日々向き合っている社会課題は異なりますが、「より良い明日」を目指す想いはひとつ。みなさん近況を報告しあう中で、組織を率いるリーダーとしての課題を共有したり、新しいコラボが生まれたりなど、毎回ポジティブなエネルギーをチャージしてくださっています。先輩起業家が、後輩起業家をリードする場面があったり、また逆に若いパワーに触発されてみたり、赤ちゃんと一緒にきてくださったリーダーも!そして、OBOGのみなさんのご意見ご助言をいただきながら、今年度の社会起業家フォーラムの登壇メンバーも決まり始めました!第9回社会起業家フォーラムは10月7日(土)午後、文京学院大学仁愛ホール(東京・本郷)にて開催です!どうぞご期待ください!募集開始は7月初旬です!



SEEDCap担当 馬越 裕子

お客さまの声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

「コモンズ30ファンド」ファンド説明&運用報告会in大阪にご参加頂いた方より。



投資信託は「よくわからない」というイメージがありましたが、今日のセミナーを聞いて「始めてみようかな」と思いました。

ファンドの理解が飛躍的に進みました。



話すスピードも聞きやすかったですし、話題の流れもあって、初心者の方ににも分かりやすかったです。

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>



セミナー名	日付	時間	場所
「普通の人」のための資産づくりのポイント (ファンド説明会)	5月27日(土)	19:00～21:00	
はじめるコモンズ(フォローアップ編)	5月25日(木)	13:30～15:00	東京都千代田区(コモンズオフィス)
	5月26日(金)	10:30～12:00	
ぱふーむの初心者のための「つみたて投資レッスン」	5月30日(火)	19:00～21:00	東京都港区(GLOCAL CAFE(グローバルカフェ))
【コモンズ30ファンド投資先企業訪問ツアー】 リンナイ瀬戸工場(愛知)	6月23日(金)	13:30～18:00	愛知県瀬戸市(リンナイ瀬戸工場)
【名古屋開催】 コモンズ30塾 リンナイ株式会社との対話	6月23日(金)	19:00～21:00	愛知県中区(ウィンクあいち)

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行(株)	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第578号	○	○			
PWM日本証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第50号	○				
楽天証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
(株)秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金)第2号	○				
(株)足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	○	○			
(株)栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第57号	○				
(株)横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第36号	○	○			
(株)イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第633号	○				
(株)北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	○	○			
エース証券(株)	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。 なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)
03-3221-8730

■ウェブサイト
<http://www.common30.jp/>